

「ふくしまみやび」の好適栽植密度

福島県農業試験場冷害試験地
平成17年度試験成績概要

1 部門名 リンドウ栽植様式・栽植密度

分類コード 05-25-15000000

2 担当者 矢島豊・小森秀雄

3 要旨

リンドウ早生品種「ふくしまみやび」について、株間距離を15～25cmまで変更して、好適な栽植密度を検討した結果、以下の知見を得た。

(1) 「ふくしまみやび」は株間を広くしても切花規格の大きな向上は見込めないため、その栽植密度は、切花本数を多く確保できる株間15cm×条間30cmが好適である。

(2) 株間を15cmまで短縮することにより、切花本数は慣行比で約15%増加する。

(3) 種苗費は慣行比で約20%増加するが、面積当たりの切花本数の差により、採花開始2年目以降は増益となる。

(4) 栽植密度を高めたことによる生育への悪影響はほとんどなく、病虫害の発生頻度にも差はなかった。

4 その他の資料など